

留寿都高校だより

令和 2 年 7 月 号

(令和2年8月7日発行)

TEL(0136)46-3376

FAX(0136)46-3386

「夏季休業に向けて」

校長 齋藤 譲一

4月・5月の臨時休業による学習の遅れを取り戻すために、7月下旬から8月上旬にかけて10日間の授業日を設定したため、今年度の夏季休業は8月8日からとなります。例年に比べると短い夏季休業となりますが、与えられた課題にしっかりと取り組むとともに、普段の学校生活ではなかなかできない趣味や読書、自然に触れる活動、家の手伝いなども行い、時間を有効に使った中身の濃い期間にして欲しいと思います。

さて、先月には、九州や本州において長期間にわたる降雨のため、河川が氾濫するなど大規模な災害が発生しました。土砂崩れの現場や倒壊した家などテレビで流れている映像をみる度に心が痛みます。しかし、これは決して他人事ではなく、いつ私たちに起こってもおかしくないことです。「命の大切さ」を日頃から学習している皆さんには、被災した方々に思いをはせると同時に、いざという時どのように判断し、どう行動するのかを、改めて考えて欲しいと思います。

生徒諸君が有意義な夏休みを過ごし、元気に登校してくる事を願っています。

盲導犬講習

7月3日、本校1，2年生を対象に留寿都小学校と合同で盲導犬講習が行われました。福祉の科目の一環として行われたこともあり、「自分達が何をしたら良いのか」、「何が出来るのか」などの観点で学び、考えるきっかけとなる、留高らしい行事となりました。

初めに盲導犬の一生についての説明があり、盲導犬の普及率や課題などについても紹介されました。その後、数名ずつが目隠しをした状態で白杖や盲導犬を体験。白杖だけでまっすぐ歩くのは難しいことを体験した後、PR犬「バウム号」に誘導してもらい、体育館を半周した後、いすの場所を教えてもらって、いすに座るまでの行程を体験。バウム君がいすの場所を教えるときにいすの座面にあごをのせる仕草がとてもかわいらしく、動物や命とのふれあいという面でも心に残ったようです。

白杖と盲導犬の両方を体験した生徒からは、「盲導犬と一緒にの方が安心感が大きい」といった声が聞かれました。まだまだ、普及率の低さが大きな課題ということも学びましたが、今後のよりよい社会づくりを考える良い機会になりました。



進路行事ご紹介

新型コロナの影響を受け、高卒者入社試験の解禁が1ヶ月遅くなり、10月16日からとなりましたが、3年生はそれぞれの進路に向けて活動中です。2年生はコースごとに専門の授業が始まり、楽しみながらも、まだついて行くのが精一杯で、自身の進路について考えるのはまだまだ先ようです。

さて、キャリアガイダンス部では、進路選択の知識を広め、生徒の進路選択への一助とすることを目的に色々な仕事について紹介していただく機会を設けました。

7月13日(月)には自衛隊、20日(月)には北海道警察の職員の方々にご来校いただき、それぞれの仕事内容や待遇、やりがい等についてわかりやすく説明をしていただきました。また、31日(金)には北海道教育局より講師を派遣していただき、2年生には進路選択の考え方について、3年生は進路活動の組み方等について具体的に講演をいただくなどの進路活動を進めるための機会を設けました。



自衛隊の仕事内容について
たくさん紹介していただきました



北海道警察はお話だけでなく
鑑識を体験させていただきました



進路選択や夢について、辛くても
諦めないことを教わる2年生

4年生介護実習へ

4年生3名は、新型コロナの影響を受け延期されていた介護実習を7月27日(月)から、日程を2週間に短縮して開始しました。

それに先立ち、22日には決意式が行われ、代表生徒の大塚未結さんが齋藤校長先生に決意を述べ、3名がそれぞれの施設に向かいました。実習に向けて新型コロナ感染対策マニュアルを作成、感染の防止と事前のチェックを入念に行い、生徒にも施設にも最善となるよう準備を進めることで実施にこぎ着けることができました。また、実習の巡回もリモートで行うなど、工夫を加え、引き続き感染防止に努めています。

実習は順調に進んでおり、生徒からも楽しく充実した様子や言葉がたくさん伝わってきました。楽しいと思えるようになるまでには、学校や家庭などとおした多くの経験の積み重ねがあったからこそです。

短い期間ですが、自分のやりがいを確信できた大きな機会となりました。



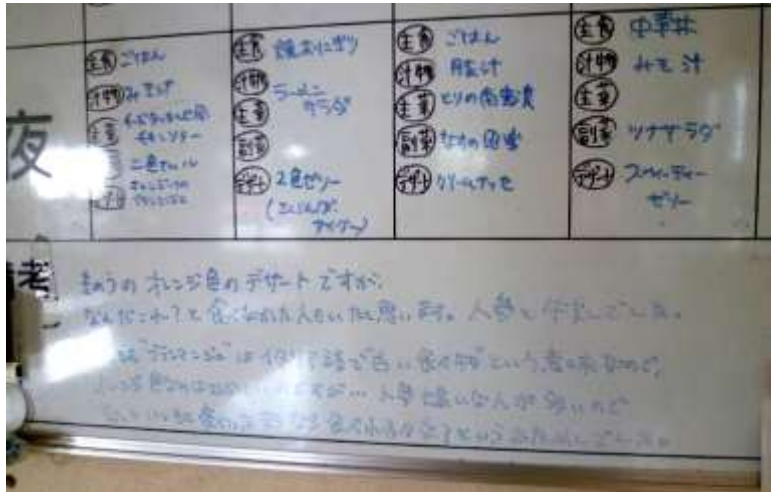
清澄寮だより①

今回は自宅から通うのが困難な生徒のための寄宿舍「清澄寮」の様子を少しご紹介します。

右のホワイトボードの写真は献立表です。夕食部分を写しましたが、とてもバラエティに富んだメニューが並んでいます。

そして、調理を担当してくれている、株式会社LEOC（レオック）の皆さんが、生徒がおいしく、かつ、バランス良く栄養や食材を食べられるように、工夫してくれていることがよくわかる備考欄のメッセージがあったかいですね。実は、この右の方に献立リクエスト募集のコーナーがあり、生徒がどんどん書き込んでいますが、それはまた機会があればお知らせします。

残念ながら、留寿都村民が寮のご飯を口にする機会は今のところありませんが、食事をとることから、心が豊かになり、農業の意義を知り、やがて福祉につながる心が成長していくのかもしれない。



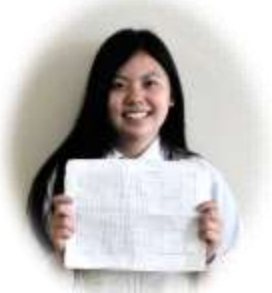
また、清澄寮のコロナ対策として、本来は全員で食事をとるところを、2・3年生グループおよび1・4年生グループに分け、対面にならないよう、かつ密を避ける

形で食事をとっています。時間が2倍かかる上、楽しく会話が弾んだ食事風景も今はお預けなのが寂しいところですが、寮生一同生活リズムを乱すことなく、元気に登校しています。写真の風景は1・4年生ですが、1列に1人しかいないテーブルは、18時まで部活動を行う生徒が抜けているため、その生徒は18時半からの食事をとれるよう配慮しています。

西東さん福祉の体験発表全国で2位

全国福祉高等学校長会主催 生徒体験発表は、高校で福祉を学ぶ生徒が、福祉に関する学習を通して自らが体験したことにより、感じた事、考えた事、それまでと変化したこと等を発表する大会です。

今年度は、3年生の西東夏希さんが本校の代表としてエントリーしました。アルバイトで経験したことを基に「介護ロボットが普及する時代のなか、介護福祉士は必要だろうか」という問いについて、自分なりの答えを言葉にしました。西東さんの内容は、北海道予備審査で1位通過、全国での審査にあたる中央審査で全国2位にあたる得点を獲得しました。本来であれば、中央審査で5位以内になると全国福祉高等学校長会研究協議会で本審査が行われます。今年度、予定では西東さんは全国の福祉系高校の校長先生や先生方が集まる大阪大会の会場で発表を披露して本審査を受ける予定でしたが、中止になったため、全校生徒の前で披露しました。西東さんの作文は、現代課題になっていることに対して、自分の経験からどう考えるかということが具体的に表現されています。



ガス・アーク溶接講習

8月3日（月）～7日（金）まで、倶知安農業高校を会場にガス・アーク溶接講習が行われました。羊蹄山麓4校が合同で行うもので、三密を防ぐため、各校5名までの枠しかありませんでしたが、留高からは枠最大の5名（2年生1名、3年生4名）が参加しました。前半3日間は暑い中、9時前から16時過ぎまで休



み時間も削りながら使用器具や法律、化学などに関する初めて聞くような難しい内容の講義でしたが、集中して取り組んでいました。

4日目からは実習も始まり、危険と隣り合わせの緊張感の中、鉄板を切ったりつなぎ合わせたりという、高度なことが自分の手の中でできる感動と喜びを感じていました。



留寿都高校農産物販売所開店中！

5月の花・野菜苗即売会は、新型コロナ感染予防の観点から中止とさせていただきます。楽しみにしていただかった村民の方々もたくさんいらっやったと思いますが、皆さまのご理解とご協力にこの場を借りて御礼申し上げます。



トマトの誘引作業を行う2年生

さて、農場では毎日野菜を中心とした収穫期をすでに迎え、「留寿都高校農産物販売所」（ぽっけ前）にて販売しております。生徒が実習で大事に育てた野菜です。ぜひ、一度お越しください。

商品は100円からなるべくきりの良い金額で設定していますが、無人販売ですので、おつりのないよう小銭の用意をお願いします。なお、売り切れの際はご容赦ください。



8月の主な行事予定

3日（月）	ガスアーク溶接講習 （5名・倶知安）～7日（金）	19日（水） 21日（金）	介護初任者研修 （2年生福祉コース）
5日（水）	教職員定期健康診断 （午後授業）	22日（土）	体験入学①
7日（金）	全校集会	24日（月）	振替休日
8日（土）	夏季休業～16日（日）	25日（火）	前期期末試験 ～31日（月）
17日（月）	全校集会		